

令和4年度鹿児島県歯科口腔保健推進協議会の開催結果について

- 1 日 時 令和4年7月13日（水）13：30～15：00
- 2 場 所 行政庁舎18階 特別会議室
- 3 出席委員 13名（代理出席4名を含む）
伊地知会長，森永委員（代理：大重氏），大西委員，於保委員，
八田委員，下川委員，立石委員，永山委員（代理：宮前健康保険課長）
大山委員（代理：板東副村長），立岡委員，神村委員，
東條委員（代理：楠生健康教育係長），房村委員
- 4 傍聴者
1名
- 5 内 容
 - (1) 報告
 - ア 本県の歯科口腔保健の現状について
 - イ 令和4年度の県及び市町村並びに各団体の取組について
 - ウ 鹿児島県口腔保健支援センターの相談実績について
 - エ 令和3年度「鹿児島県歯科口腔保健推進協議会」実務関係者検討会報告について
 - (2) 協議
 - ア 「鹿児島県歯科口腔保健計画」及び「県民の歯科口腔保健実態調査」について
 - イ 令和4年度「鹿児島県歯科口腔保健推進協議会」実務関係者検討会テーマについて（案）
- 6 主な意見
 - 高校卒業後，成人期の対策がまだまだ進まないところである。若い世代，高校生の時期から取組をしていかなければと思う。
 - 学齢期のデータについて，歯周病と糖尿病の予防の関連性から学生のBMIや食生活データの統計がみれると良いと思う。
 - 実務関係者検討会のテーマとして，「医療機関から在宅等へ退院後の口腔健康管理の充実を図る」が予定されているが，各二次医療圏ごとに退院支援ルールとして，ケアマネや医療機関の方々の連携の仕組みが動き出している。その仕組みもうまく活用するような方向で検討いただくとよいと思う。
 - 県歯科医師会の「歯科医療連携室」について，「知らない」が8割近くであり，少ないと感じた。